

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和1年9月5日(2019.9.5)

【国際公開番号】W02018/079791
 【年通号数】公開・登録公報2019-030
 【出願番号】特願2018-547837(P2018-547837)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 1/12 (2006.01)

A 6 1 B 8/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/12 5 1 0

A 6 1 B 8/12

【手続補正書】

【提出日】平成31年4月12日(2019.4.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

使用者にて把持され、長手方向に交差する平坦状の側端部を有する柄と、前記柄の前記側端部より前記側端部の法線方向に向かって互いに平行となるように設けられた複数の軸部材と、前記複数の軸部材の外周面の全周に亘ってそれぞれ植毛された複数のブラシ毛と、を備える

ことを特徴とする起上台洗浄用ブラシ。

【請求項2】

前記柄は、

平板形状を有する

ことを特徴とする請求項1に記載の起上台洗浄用ブラシ。

【請求項3】

前記複数の軸部材は、

当該複数の軸部材を含む平面が前記柄の板面に対して平行となるように配設されていることを特徴とする請求項2に記載の起上台洗浄用ブラシ。

【請求項4】

前記複数の軸部材の先端同士を固定する固定部をさらに備える

ことを特徴とする請求項1に記載の起上台洗浄用ブラシ。

【請求項5】

前記複数の軸部材は、

同一の断面形状及び長さ寸法を有する

ことを特徴とする請求項1に記載の起上台洗浄用ブラシ。

【請求項6】

前記複数のブラシ毛の幅寸法は、

2.8 ~ 4.2 mmである

ことを特徴とする請求項1に記載の起上台洗浄用ブラシ。

【請求項7】

前記複数のブラシ毛の厚み寸法は、

0.6～1.2mmである

ことを特徴とする請求項1に記載の起上台洗浄用ブラシ。

【請求項8】

前記複数のブラシ毛の長さ寸法は、

8～20mmである

ことを特徴とする請求項1に記載の起上台洗浄用ブラシ。

【請求項9】

内視鏡の鉗子台を倒置状態にすることで、前記鉗子台と前記内視鏡の硬性部材との間に先端側と基端側とが開口した洗浄空間を形成する工程と、

前記洗浄空間の幅寸法及び厚み寸法よりも大きな寸法を有するブラシを前記内視鏡の先端側より前記洗浄空間に挿入する工程と、

前記ブラシを前記洗浄空間の基端側まで貫通する工程と、

を備えることで、前記洗浄空間を一括してブラッシングする内視鏡の起上台洗浄方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】起上台洗浄用ブラシ、及び内視鏡の起上台洗浄方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、起上台洗浄用ブラシ、及び内視鏡の起上台洗浄方法に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記に鑑みてなされたものであって、洗浄作業を単純化し、洗浄に要する作業時間を低減することができる起上台洗浄用ブラシ、及び内視鏡の起上台洗浄方法を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上述した課題を解決し、目的を達成するために、本発明に係る起上台洗浄用ブラシは、使用者にて把持され、長手方向に交差する平坦状の側端部を有する柄と、前記柄の前記側端部より前記側端部の法線方向に向かって互いに平行となるように設けられた複数の軸部材と、前記複数の軸部材の外周面の全周に亘ってそれぞれ植毛された複数のブラシ毛と、を備えることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、本発明に係る起上台洗浄用ブラシでは、上記発明において、前記複数の軸部材は、当該複数の軸部材を含む平面が前記柄の板面に対して平行となるように配設されていることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、本発明に係る起上台洗浄用ブラシでは、上記発明において、前記複数の軸部材の先端同士を固定する固定部をさらに備えることを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、本発明に係る起上台洗浄用ブラシでは、上記発明において、前記複数の軸部材は、同一の断面形状及び長さ寸法を有することを特徴とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明に係る起上台洗浄用ブラシでは、上記発明において、前記複数のブラシ毛の幅寸法は、2.8～4.2mmであることを特徴とする。また、本発明に係る起上台洗浄用ブラシでは、上記発明において、前記複数のブラシ毛の厚み寸法は、0.6～1.2mmであることを特徴とする。また、本発明に係る起上台洗浄用ブラシでは、上記発明において、前記複数のブラシ毛の長さ寸法は、8～20mmであることを特徴とする。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明に係る内視鏡の起上台洗浄方法は、内視鏡の鉗子台を倒置状態にすることで、前記鉗子台と前記内視鏡の硬性部材との間に先端側と基端側とが開口した洗浄空間を形成する工程と、前記洗浄空間の幅寸法及び厚み寸法よりも大きな寸法を有するブラシを前記内視鏡の先端側より前記洗浄空間に挿入する工程と、前記ブラシを前記洗浄空間の基端側まで貫通する工程と、を備えることで、前記洗浄空間を一括してブラッシングする。

专利名称(译)	提高清洁刷和内窥镜清洁方法		
公开(公告)号	JPWO2018079791A5	公开(公告)日	2019-09-05
申请号	JP2018547837	申请日	2017-10-30
[标]申请(专利权)人(译)	奥林巴斯株式会社		
申请(专利权)人(译)	奥林巴斯公司		
[标]发明人	平岡仁		
发明人	平岡 仁		
IPC分类号	A61B1/12 A61B8/12		
CPC分类号	A61B1/12 A61B8/12		
FI分类号	A61B1/12.510 A61B8/12		
F-TERM分类号	4C161/BB04 4C161/CC06 4C161/DD03 4C161/GG04 4C601/BB22 4C601/BB24 4C601/EE11 4C601/EE17 4C601/FE02 4C601/GB04		
优先权	2016212189 2016-10-28 JP		
其他公开文献	JPWO2018079791A1		

摘要(译)

抬高架清洁刷100包括：要被使用者抓握的手柄101；从手柄101的端部101A延伸的多个轴构件102；以及在轴构件102的外周表面上植入的多个刷毛。刷毛103。